

6月議会一般質問項目

平成23年6月20日(月)午前9:00～

全議員：一問一答方式を選択

質問 順番	議員名	項目
1	5番 臼井 悦子	1. 防災意識の高揚について (1) 現在の市の対策は (2) 自主防災組織の推進は 2. 市営バスササユリの停留所について (1) 市の考えは (2) 今後の対応は
2	6番 高田 文一	1. 地域防災計画、地震対策について (1) 想定地震について ①予想される震度が「5弱～6弱」とされていますが、各関係機関との調整や協議については ②東海・東南海・南海地震のさらなる調査・研究は (2) 自主防災組織の育成と強化について ①自主防災組織の防災計画作成の指導強化をどのように推進されますか ②自主防災組織の重要性のさらなる啓発をどのように推進されますか (3) ボランティアの推進について ①ボランティアセンターの育成はどのように進めていますか ②災害ボランティアの登録の指導・支援はどのように進めていますか (4) 食料・飲料水、生活必需品および防災資材の確保について 予め定めた計画に基づき、それぞれ必要品等を備蓄することになっていますが、現状は（備蓄場所、数量等） (5) 原発事故への対応について 本市の北西方向には、志賀、敦賀、美浜等の原発があり、事故等が発生した場合、風向きや距離を考慮すると、影響があると予想されます 市としての対応策はありますか 2. 節電対策について (1) 節電を本巢市として日ごろから乗り切る計画や実施内容がありますか

3	7番 高橋 勝美	<ol style="list-style-type: none"> 1. 太陽光発電システム・小水力発電システム導入奨励金について <ol style="list-style-type: none"> (1) 導入奨励金は (2) 1kwあたりの奨励金は (3) 奨励金はいつの時期から 2. 節電対策について <ol style="list-style-type: none"> (1) 市の対応策は (2) 今後新築又は改築する公共建物については
4	8番 安藤 重夫	<ol style="list-style-type: none"> 1. 樽見鉄道新駅計画について <ol style="list-style-type: none"> (1) 合併特例債を用いて、横屋新駅を本巣市、瑞穂市のリーダーシップで立ち上げるべきと考えますが、どの位予算が必要か (2) JR穂積駅の朝、夕の一日の乗客は9000人ありますが、駐車場の心配もありません。旧外山、根尾地域の未来は開けると考えますが市長の考えは 2. 根尾川浚渫について <ol style="list-style-type: none"> (1) この問題は過去にもたびたび質問を致しましたが、その後の浚渫計画の進捗は
5	12番 若原 敏郎	<ol style="list-style-type: none"> 1. 東日本大震災の教訓と防災対策について <ol style="list-style-type: none"> (1) 市の無料耐震診断の成果は (2) 自治会で防災備品を購入した場合は市の補助はあるのか (3) 市の防災無線ではJ-A-L-E-R-Tと連携しているのか (4) 今後、県外移転者の受け入れは考えているのか (5) 原発事故は地震による津波被害により発生した。教訓として得たものは。自然エネルギーについて考える市になっては 2. リバーサイドモールの営業休止について <ol style="list-style-type: none"> (1) 市税の滞納が発生しますが、今後の見通しは (2) 周辺の環境悪化による市の対応策は 3. 岐阜国体に向けての取り組みについて <ol style="list-style-type: none"> (1) 本巣市が全国にPRしていくものは
6	18番 鵜飼 静雄	<ol style="list-style-type: none"> 1. 原子力災害に対する方針について <ol style="list-style-type: none"> (1) 市の地域防災計画にも明確に位置づけ、対応方針等明らかにしていく必要があります。見解・方針は (2) いま原子力教育で必要なのは、今回の事故の科学的な事実を子どもたちに知らせ、①「安全神話」の間違い、②多様なエネルギーの可能性、③放射線の有害さーなどを踏まえた教育ではないでしょうか 2. 災害時に必要な名簿の作成について <ol style="list-style-type: none"> (1) 個人情報保護法の正確な理解を促すだけでなく、市として必要だと考えられる名簿作成には、法の趣旨を踏まえつつ、積極的に推進することが求められると思います。あらためて考えは

		<p>(2) 積極的な働きかけによって名簿の作成を推進し、いざというときに備えることが大切ではないでしょうか。より前向きな対応を求めたいと考えますが、見解は</p> <p>3. 木造住宅の耐震化推進について</p> <p>(1) 本巢市の耐震化率は</p> <p>(2) 県の2015年耐震化目標は90%です。本巢市は</p> <p>(3) 耐震補強工事の補助金の受給状況は</p> <p>(4) 目標達成に向けた取り組み・方針は</p> <p>4. 避難場所の安全性は</p> <p>(1) 各自治会に公民館が避難場所として指定されていますが、その安全性はどうでしょうか。また、耐震上問題がある場合の対応は</p> <p>5. 災害時の議会の対応について</p> <p>(1) 災害時における議会の役割を明確化する意味でも、いま大切なことと考えます。第一義的には議会内での協議を踏まえて方向付けすべきことですが、市の地域防災計画の見直しに併せて位置づけもしてはどうか、見解は</p>
--	--	--

平成23年6月21日(火)午前9:00～

全議員：一問一答方式を選択

質問 順番	議員名	項 目
1	1番 江崎 達己	<p>1. 本市の活性化に向けた取り組み等について</p> <p>(1) 平成21年度から今日までの職員の提案状況と実績は</p> <p>(2) 本市の宣伝並びに観光振興にも繋がるパワースポットを観光協会等との連携を図り設定を図ることはどうか</p> <p>2. 市道路の整備について</p> <p>(1) 通学路の危険箇所が見受けられますが改善を</p> <p>(2) 道路幅員の有効活用した舗装整備を</p> <p>(3) 今後の対応として総点検を図ってはどうか</p> <p>3. 本市の防災について</p> <p>(1) 防災計画の再検討が必要ではないか</p> <p>(2) 洪水対策としての中小河川の整備を</p> <p>(3) 今後の対応は</p>
2	2番 鏑本 規之	<p>1. 東日本大震災被災地及び被災者への支援について</p> <p>(1) 本巢市の支援と現状について</p> <p>(2) 市民から届けられた義援金について 他市では、市民から届けられた義援金の使い道について委員会を立ち上げ、届け先等を検討されているが、本巢市においてはどのようにされているか</p>

		<p>(3) 市が募集しているボランティアについて 市は、市民に対し東日本大震災のボランティアの募集をしていますが、実情はどのようになっていますか</p> <p>(4) 市独自のボランティアを含めた支援について ①市独自の支援を考えているか ②ボランティアへの支援は</p> <p>2. 市のイベントについて</p> <p>(1) 4月20日の説明では自粛でしたが、実施に方向転換をされた理由は</p> <p>(2) イベントの予算について</p> <p>(3) 被災地への義援金について</p>
3	4番 船渡 洋子	<p>1. 防災対策の強化・見直しについて</p> <p>(1) 現時点の防災計画はどの程度の災害を想定し、どのような対策を講じていますか、どう備えていますか</p> <p>(2) 災害発生時に被災者支援の行政サービスを迅速に行うための「被災者システム」の導入・運用は</p> <p>(3) 避難の在り方の見直しについて 避難指示などの発令基準や伝達方法、避難場所や避難ルートなどの整備、充実とともに実際に機能するかどうか、機能しなかった場合の対処方法は</p> <p>(4) 公立学校施設の防災機能の向上を 大規模地震の発生時、学校施設は地域住民のための応急的な避難所ともなる役割を担っています。そのために、耐震性の確保だけでなく、食料・生活必需品等を提供できるように必要物資を備蓄するなど、避難生活に必要な諸機能を備えることが重要では</p> <p>2. 幼保一体化「こども園」について</p> <p>(1) ただ名称が統一されても、機能が統合される「こども園」と異なり、保育のみ、幼児教育のみの機能を持つ一部施設が残ることは変わらないとのことですが、本市においては地域格差があります。今後どのように対応されますか。新しく建設予定の本巢地域の保育園は、幼保一体化を考えてみえますか</p>